



# 明小だより

平成23年12月 1日  
横須賀市立明浜小学校  
校長 小田部忠仁  
NO. 10

## いよいよ師走です 今年一年の反省を



朝の冷たい風に思わず身震いする今日この頃です。

しかし、明浜っ子は元気に登校してくれています。とても嬉しいと同時に、その陰で子どもたちに「おはよう」「元気に学校へ行くんだよ」「途中気をつけてね」などのお声かけをしてくださっている保護者の皆様にあらためて感謝申し上げます。

さて、いよいよ暦の上では師走、平成23年の最後の月になりました。6年生にとっては、小学校生活も残すところ4ヶ月を切ったこととなります。どんな形で最後を締めくくるのかは、一人一人の中でよく考え、悔いのない小学校生活にしてほしいと思います。

ところで、寒くなると心配なのが「インフルエンザ」です。流行しなければいいのですが、ご家庭でも十分ご注意ください。とくに「手洗い」「うがい」「十分な睡眠」などとともに、「無理をさせて登校させない」などのご配慮もお願いします。また、集団生活をしている学校ですので「マスク」などもご準備いただければ幸いです。

うがいをしよう



先日の授業参観やはっP祭（PTA主催）に多くの保護者の方に参加いただき、感謝申し上げます。授業参観では、教室の中に入りきれないほど大盛況で、お子様の教育に対する関心の高さを再確認したところです。また、ハッピー祭は、風雨の強い中という最悪のコンディションにもかかわらず大盛況でした。教職員の「蒸しパン」も900個作り完売でした。

朝から先生方が子どもたちのために一生懸命作った蒸しパン。教室とは違った顔つきの先生方は、とてもほほえましいお姿でした。このチーム明浜の団結力で、素晴らしい明浜っ子を指導していきたいと思えます。

## 開かれた学校を目指して（学校へ行こう週間11/28～12/2）

神奈川県教育委員会の施策の一つに「学校へ行こう週間」があります。公立学校を保護者や地域の方に積極的に公開をして、その教育活動にご理解をいただき、さらにご協力をお願いするものです。学校とくに義務教育は、校門（正門）をくぐったところから、家庭教育と切り離され、子どもが先生や友だちと学びを作り上げる場なのです。言い換えれば、親から切り離されて一人でたくましく集団生活の中で生きる術を身につけていくところなのです。

その厳しい状況を公開することで、家庭、地域で連携ができることを考えていただく機会にもしてほしいと考えているのです。学校にしかできない教育、家庭とともにできる教育、その理解と連携が現代の義務教育に求められていると痛感しています。

教育目標 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・進んでやる子 ・命を大切にする子

## 様々な教育活動の陰で

学校の中で子どもたちを教育するためには、様々な環境（教材教具や生き物・施設設備など）が必要です。一昔前の学校や地方の学校には、当たり前のようにあった環境が、現在の学校では少なくなってきたものもあります。

一人一鉢運動で育てた「菊の花」、一生懸命世話をした「ニワトリ」「セキセイインコ」「鯉や亀」などの生き物は、様々な状況からその姿が無くなってしまいました。家庭環境が変化するとともに生き物が学校から姿を消してしまったのです。

しかし、東日本大震災のあと、「絆」「命」に対する思いを、誰もが大切だと強く感じるようになってきました。本校では、植物やウサギ・鯉を育てる中で心を育てる取り組みをしているところです。しかし、育てるといっても大変なことで、中でも休業日の世話については、大きな問題もあり、大変苦労しているところでもあります。当然、原則は子どもたちが先生方の指導で飼育栽培の取り組みをするのですが、休業日に学校へ子どもを当番として登校させることはできない状況になっております。そこで、先生方が当番で学校へ出てきたり、ボランティアとして学区に住む「茅花さん」（うさぎ）や保護者の方（植物）をお願いをしたりして子どもの学びの環境維持に努めておりますが、お願いするにしても限界があり現在苦慮しているところです。子どもの情操教育の観点からも、ぜひ継続していきたいものです。

## 横須賀東ライオンズクラブから



キンモクセイとクワの木をいただきました。

横須賀東ライオンズクラブが創立 40 周年を迎えられたということで、子どもたちのために「学習で使う木」を植樹してくださいました。学校は、全てのもの・こと・人が教材になりえるものです。植えてある花や木もそうです。単に植えてあるのではなく、そこで何を学ばせるのか？教師はそれを考えて植えているのです。さて、ライオンズクラブのみなさんが植えてくださったキンモクセイとクワの木で何を学ばせるのか？何を学ぶのか？ご期待ください。

## 学校からのお願いとお知らせ

### 安全・安心な学校めざして

子どもを取り巻く環境は一昔前と違って大変厳しいものになっております。中でも、携帯電話や車を使った違法行為が多くあるものです。お子さんに携帯電話をもたせる家庭も多くなり、心配することも増えてきております。持たない心配と持った心配、どちらも難しいものです。今一度ご家庭で話し合い、ルールを決めること、親として毅然とした態度をとることなど、子どもの健全育成の観点から対応していただきますようお願いいたします。

学校としては、文部科学省や県教委の指導の下「原則禁止」としております。

※日が短くなり、夕方五時になると真っ暗になります。市の防災無線のチャイムも「16時」になりました。できるだけ、防災無線を聞いたら帰宅するか、自宅で防災無線を聞くようにご家庭でもご指導ください。＜自転車の無灯火や整備不良はないでしょうか？＞